

戦後80年

日韓条約60年

在日コリアン ミュージアムフォーラム

～歴史の継承と豊かな共生の未来へ～

日時

2025年11月9日(日) 午後2時～5時

会場

大阪公立大学 森之宮キャンパス
11階 1112教室

参加費無料

※事前申し込みは必要ありません

第一部

各地のミュージアムの
取り組みと現状

- 笹の墓標強制労働博物館
- 高麗博物館
- 多文化共生をめざす川崎歴史ミュージアム設立委員会
- 渡来人歴史館
- 長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

第二部

～シンポジウム～
在日コリアンミュージアムの
意義とこれからの役割

- 李成市（在日韓人歴史資料館館長）
- 伊地知紀子（大阪コリアタウン歴史資料館副理事長）
- 勝村誠（ウトロ平和祈念館館長）
- 金信鏞（神戸在日コリアンくらしとことばのミュージアム館長）
- コーディネーター：郭辰雄（コリアNGOセンター代表理事）



李成市



伊地知紀子



勝村誠



金信鏞



郭辰雄

主催

在日コリアンミュージアムフォーラム実行委員会

【構成】

在日韓人歴史資料館、ウトロ平和祈念館、大阪コリアタウン歴史資料館、
神戸在日コリアンくらしとことばのミュージアム、コリアNGOセンター

共催

大阪公立大学文学研究科／大阪の歴史文化プロジェクト研究（戦略的研究（拠点形成型）大阪の歴史文化研究拠点をめざす学際的研究（OMU-SRPP2024_PR02）

大阪公立大学人権問題研究センター附設大阪コリアン研究プラットフォーム

後援

韓国学中央研究院

開催趣旨

近年、植民地時代から日本で暮らしてきた在日コリアンの歴史や、それぞれの地域での暮らしを伝えることを目的にした在日コリアンミュージアムが各地でオープンしています。また日本各地で日本と朝鮮半島の交流の歴史や、炭坑での強制労働など植民地時代の日本の責任を問い、伝える取り組みも広がっています。

過去の植民地期からの日本と朝鮮半島の関係や、戦後の日本の在日外国人（在日コリアン）の人権をめぐる歴史、日本の地域社会での共生にむけた歩みを伝えている在日コリアンミュージアムは、日韓市民のより深い相互理解に寄与すると同時に、次世代の在日コリアンの豊かなアイデンティティを育む大切な場所になっており、こうした歴史を伝えることはこれから日本が多文化共生社会に進んでいくためにも非常に重要な課題であるといえるでしょう。

このフォーラムでは、各地で取り組まれている取り組みを紹介するとともに、これからの在日コリアンミュージアムの意義や役割について深めていきます。

ぜひ多数のご参加よろしくお願いいたします。

交通アクセス ▶ 大阪公立大学 森之宮キャンパス

Osaka Metro中央線・長堀鶴見緑地線、JR大阪環状線
「森ノ宮」駅 徒歩約13分

Osaka Metro長堀鶴見緑地線「京橋」駅 徒歩約20分

JR大阪環状線・JR東西線・学研都市線、京阪本線
「京橋」駅 徒歩約15分

Osaka Metro中央線・今里筋線
「緑橋」駅 徒歩約15分

Osaka Metro今里筋線、JRおおさか東線・学研都市線
「鳴野」駅 徒歩約13分



連絡先 ▶ 特定非営利活動法人 コリアNGOセンター（担当:郭辰雄）

TEL 06-6711-7601 FAX 06-6711-7606 E-mail center@korea-ngo.org